

歯医者さんで行う口腔清掃ってなぜ必要なの？

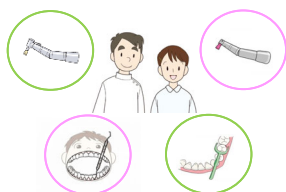
1

当センターで行う「予防」では、むし歯や歯周病予防のための予防処置や歯磨き・間食支援などを行っています。予防処置の一つのプロフェッショナルツースクリーニング(口腔清掃)は、歯面清掃、歯石除去、歯周ポケット内のケアなどがあげられます。



2

今回は口腔清掃で使用している用具の使用目的や使い方についてご紹介します。



3

1 ポリッシングブラシ



プラーク(細菌の塊)や茶しびを落とします。毛束がコンパクトなため、口を大きく開けられない患者さんの負担が少ないです。1番奥の歯の後ろなど歯ブラシでは届きにくい部分もケアしています。

フッ素配合



併用する歯みがき粉は、含まれる研磨剤の粒子の大きさが異なります。茶しびの付着量に応じて選択します。

4

2 ラバーカップ



仕上げとして歯を滑沢にすることで、プラークをつきにくくします。

ゴム製で柔らかく、歯の面に密着するため、歯の丸みを帯びた部分や歯と歯ぐきの間の溝まで清掃することができます。

フッ素配合



研磨剤を含まない歯みがき粉を使用します。

5

3 デンタルフロス(糸ようじ)



歯と歯の間のプラークや食べ物を取り除きます。その時に、隣り合った歯の面や詰め物に引っかかる所がないかをチェックします。



口を大きく、長く開けることが難しい方には、持ち手がついたフロスを選択することがあります。指に巻くフロスはより歯の側面に沿わせて使えます。

6

4 スポンジブラシ



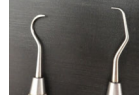
乾燥した粘膜を傷つけないように、保湿剤をつけて塗布します。
また、頬の内側や舌(した)、上あごなどにある食べ物や痰をスポンジの吸水性と弾力性によって取り除くこともできます。

かたくなった汚れは、水や保湿剤を使って十分に汚れをふやかした後にくぐります。

7

5 スケーラー

①機械を使わない方法



歯石を取るために使います。

種類が前歯用や奥歯用など多くあります。



細かな部位に当てやすく、手指で触知しながら歯石をとりまします。

8

②機械を使う方法



歯石や歯と歯ぐきの間の溝(歯周ポケット)の中の汚れを取るために使います。



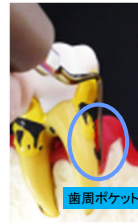
主に歯石を取るときに使います。



主に歯周ポケットの中の清掃に使います。

9

②機械を使う方法



歯周病の改善には、歯周ポケットの中の清掃がとても大切です。

歯ブラシの毛先では届きにくい歯周ポケットの中に先端を入れて、超音波の振動と水の力で歯周病の原因となる細菌を取り除きます。

10



機械を使う方法と使わない方法の使い分けは？

機械を使う方法

メリット

- ・短い時間でたくさんの歯石が取れる
- ・水がとれた歯石などの汚れを洗い流してくれる

デメリット

- ・超音波独特の音や振動を感じる



11

機械を使わない方法

メリット

- ・ペースメーカーを装着している方など全ての患者さんに使用することができる
- ・水が出ないためむせやすい方にも使用できる

デメリット

- ・機械を使うよりも時間がかかる

患者さんの体調や口腔内の状態に合わせて使い分けています。



12

おわりに



ご自宅では難しい部分も
丁寧に清掃いたします



これからも一人ひとりに適した効果的な口腔清掃を行い、
患者さんの歯と口腔の健康づくりのお手伝いをさせていただきます。

(ご不明な点は、担当の歯科医師、歯科衛生士にご相談ください。)